



International Programs

in  
Language and Culture  
2019



北海学園大学人文学部



University of  
Lethbridge



## Brock University's partnership with Hokkai-Gakuen University

In the wake of our 50th anniversary celebrations here at Brock University year, it is a time for us to reflect on important partnerships we have developed over the years. Our relationship with Hokkai-Gakuen University is one partnership that we certainly value at Brock University.

Just as Brock has grown over the years, so, too, has our partnership with Hokkai-Gakuen University. Since 2000, we have had the pleasure of welcoming students from the Faculty of Humanities to our university. Since 2014 the program has expanded so we also have the pleasure of working with students from the Faculty of Business. These new groups have allowed us to diversify the types of academic activities we can offer, including trips to local wineries, the Niagara Hilton Hotel and the Royal Bank of Canada. At the same time, we see your students actively participating in many of our annual university and local activities such as our Grape Stomp and the Ice Dogs hockey games.

The enthusiasm and energy the Hokkai-Gakuen students bring to our campus every year is wonderful to see. During their short stay, they form new friendships with students from around the world and develop lasting relationships with their homestay families. We are all enriched by their presence in our classes and on our campus.

We hope that as Brock moves into the next 50 years of its founding, our long-standing relationship with Hokkai-Gakuen University will continue to grow. I also hope that I have the opportunity to visit your campus once again in the near future.

## Strengthening the HGU-ULeth Partnership

On behalf of the senior administration and myself, I would like to invite you to join our University of Lethbridge International family. The University of Lethbridge is consistently ranked as one of the top small universities in Canada and has a long tradition of providing quality education and helping students achieve their personal and educational goals.

We welcome you into our international family with representation from over 65 countries. You will work with others to gain first-hand information about and insight into Canadian university life. As a member of our International family, you will find plenty of opportunities to connect with other students, both Canadian and international, and have access to all student services.

Make the University of Lethbridge your destination university. See you soon!

# 人文学部カリキュラムにおける語学文化研修(2020年度以降)

## 英米文化特別演習Ⅱ：9月 ブロック大学

英米文化特別演習Ⅱは、9月初旬から約3週間、本学の協定校であるカナダ・ブロック大学（オンタリオ州）の授業を履修するために必要な英語運用能力を養成する Intensive English Language Program (IELP) の履修と現地での様々なアクティビティを通じた文化体験による研修です。

参加学生にとってこの研修は、現地での様々な経験や出会いを通じてその後の新たな目標を見つけ、より長期の留学や進学を目指すなど、次のステップに向かうための重要な足掛かりとなっています。ぜひ、多くの学生に参加してもらいたい研修です。



結団式



ブロック大学研修



レスブリッジ大学研修

## 国際文化特別演習：9月～12月 レスブリッジ大学

国際文化特別演習は、現地での1学期（約4か月）を他の国からの留学生と一緒に English for Academic Purpose Program (EAP) で大学レベルでの学術研究に必要な英語運用能力を養成するための授業を履修し、多様なアクティビティに参加します。3週間という期間の短い英米文化特別演習より、さらに大きな成果が期待されます。この科目は2年次より履修可能で、英米文化特別演習の参加経験の有無を問わず参加可能です。また、現地での学修は履修科目と成績、参加アクティビティに応じて20単位を限度として本学卒業単位として認定されます。

## Contents

挨拶 .....	1	レスブリッジ大学及び Lethbridge 市の紹介 レスブリッジ大学海外研修事業の概要と EAP 授業 .....	9
人文学部カリキュラムにおける語学文化研修 .....	2	レスブリッジ大学のアクティビティ .....	10
ブロック大学及び St. Catharines 市の紹介 ブロック大学海外研修事業の概要 .....	3	2019年度 参加者エッセイ [レスブリッジ大学] .....	11 ~ 14
ブロック大学の ESL 授業 ブロック大学のアクティビティ .....	4	研修までの流れ .....	15
2019年度 参加者エッセイ [ブロック大学] .....	5 ~ 8	海外研修事業の歴史 .....	16
		Photo Gallery .....	17

# ブロック大学及び St. Catharines 市の紹介

## St.Catharines市

カナダ、オンタリオ州南西部に位置するセント・キャサリンズ市 (City of St. Catharines) は、ナイアガラ地域では最も大きな都市です。果樹園やぶどう園、ゴルフコース、史跡などに囲まれ、緑あふれる景観からガーデン・シティ (The Garden City) とも呼ばれています。手入れのゆきとどいた美しい公園と 200 を超える温室があり、カナダの温室産業の基地ともなっています。

トロントからは車で 1 時間、ナイアガラの滝には 20 分弱と近く、ナイアガラ観光に適した都市でもあります。また、トロントとアメリカのバッファローの中間という位置でもあり、アメリカからも多くの人を訪れます。ワイナリーは 45 以上もあると言われ、カナダ最大のワインの産地としても知られています。



セント・キャサリンズ市



ブロック大学

## ブロック大学とは

ブロック大学は、セント・キャサリンズ市にある 1964 年に設立された総合大学です。大学名は、1812 年の戦争 (War of 1812) の軍功で名高いアイザック・ブロック (Isaac Brock) の名にちなんでいます。中規模ながら充実した学術プログラムが国際的にも評価され、応用健康科学部、経営学部、教育学部、人文学部、数学科学部、社会科学部及び大学院が設置されています。また、留学生向けには充実した英語集中講座があります。

※ブロック大学公式 HP <http://www.brock.ca/>

## ブロック大学海外研修事業の概要

今日は社会の多文化化にともない、日常語としての英語の普及および実践的な多文化適応力の養成が求められています。ブロック大学と本学とは 2000 年に交流協定を締結し、9 月上旬からの 3 週間、IELP (Intensive English Language Program: 英語集中講座) に学生を派遣しています。2014 年度からは科目名を「英米文化特別演習」と改め、1 年次からの参加が可能となりました。演習は、英語圏の大学での就学に必要なレベルの英語運用能力を習得することが主要な目的ですが、ホームステイや様々な文化活動を通じて、カナダの文化・社会についての理解を深められることも特徴の一つです。研修を通じて得られるもう一つの経験は多文化主義の実体験です。研修期間中、学生たちは中南米、アジア、中東各国からの留学生を中心とする多様な文化背景を持つ人々と授業を受けることになります。様々な国の学生と友好を深め、視野を広げる機会となり、積極的な授業参加や発言の場ともなっています。

# ブロック大学の ESL 授業【プレイメント・授業内容等】

ESL クラス

平日 8:00 ~ 16:00

学生は3つのクラス（スピーキング・リスニング、リーディング・ライティング、プロジェクト）を受講します。

## ●自身のレベルに応じて学習

プレイメントテストの結果に応じて、レベル0（英語入門クラス）からレベル5（大学入学準備クラス）までの6つの段階に習熟度別にクラス分けされます。

## ●いろいろな国からの学生と共に学習

アジア・中東・中米・南米などから来ている学生たちと共に学びます。

## ●授業は、英語だけを使用

世界中から学生が集まるため、お互いにコミュニケーションを図る際は、英語を使用しなくてはなりません。授業中だけでなく、大学構内では他の言語を使用せず、英語だけを使うことが推奨されています。



ブロック大学のキャンパス



①



②



③



④

①ブロック大学でのオリエンテーション ②③④ブロック大学の教室で

# ブロック大学のアクティビティ【トロント小旅行・遠足等】

英米文化特別演習では英語授業の履修による教室内での学習に加え、教室の外で行われる様々なアクティビティを通じて自分の目的に応じたコミュニケーションをとりながら英語を学ぶ機会が設定されています。

アクティビティは、世界的な観光地であるナイアガラの滝の見学・ボートツアー、レイクサイドでのバーベキュー、ワイナリー、セント・キャサリンズ市庁、ナイアガラ・オン・ザ・レイク訪問など多岐にわたります。週末には、カナダ最大都市であるトロントへのデイ・トリップが行われ、運良くトロント国際映画祭の開催時期と重なれば、世界中から映画関係者やファンが訪れる国際都市トロントの非日常的な一面も垣間見られるかもしれません。

この他にも大学の行事であるぶどう踏み祭り（Grape Stomp）やキャンパス内のコンサート、ボランティア活動などにも自主的に参加することができます。これらのアクティビティに積極的に参加することにより、現地の学生や住民との出会いを通じてさらに現地の文化を学ぶことが期待できます。



①



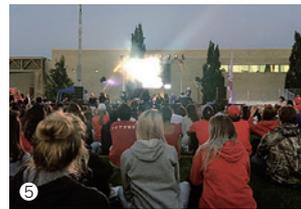
②



③



④



⑤



⑥

①②ナイアガラの滝の見学 ③ワイナリー訪問 ④セント・キャサリンズ博物館訪問 ⑤キャンパス内のコンサート ⑥ぶどう踏み祭り

## 3 Weeks

## 初めての留学を通して



中村 咲貴

SAKI Nakamura  
1部英米文化学科2年

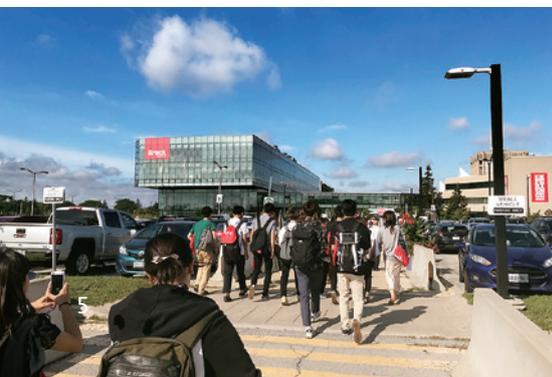


私は、今回のカナダ留学が人生初の海外経験でした。留学については、高校生の頃から大学在学中の一つの目標としていました。そして、やっと行くことが出来た初めての留学では、様々な体験を通して学ぶことを通じて、留学や英語に対する考え方が変わりました。

現地では英語を通して他国の人々とコミュニケーションをとることの楽しさを感じつつ、その反面では言語の壁というものも感じました。私のホストファミリーはフィリピン人の家族で、その中にはホストファザーとマザーの他にホストブラザーとホストシスターもいました。最初はネイティブの話す英語が速く、子どもの英語でさえ聞き取ることに苦労して、なかなか会話が続きませんでした。また、私のクラスには中国人や韓国人、サウジアラビア人がいたので、世界中の英語に触れることが出来たのですが、その国によって聞き取りやすい英語と聞き取りにくい英語がありました。その中でも、中国人と英語で会話する際には、何とか単語を聞き取って話すということで精一杯でしたし、逆に私のお話している英語を聞き取ってもらえない場面も多々ありました。しかし、このような体験ができたおかげで、今の自分の英語力というものはまだまだということを痛感させられた良い経験となりました。

また、観光としてナイアガラの滝を見に行き、アイスホッケーの試合も観戦をしましたが、一番の思い出は Grape Stomp というブドウを足で踏んで投げ合い、ブドウまみれになるという海外らしいお祭りを経験したことです。日本では経験することのできない雰囲気が体験できて本当に良かったです。

最近は友人との旅行を目的として海外に行く人も多くなってきている印象がありますが、私はぜひ娯楽としていくのではなく、語学や文化を学ぶために海外経験をすることぜひお勧めしたいです。



## 3 Weeks

## カナダ留学から得たもの



花田 栞

SIORI Hanada

1 部英米文化学科 2 年

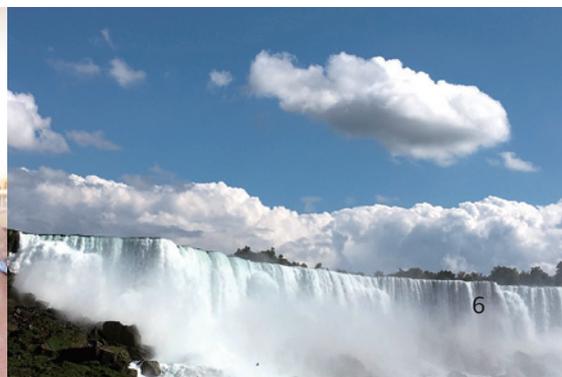


私が今回この語学研修に参加した理由は、自分の語学力を上げるため、そして何よりカナダの文化に直接触れ、自分の視野を広げたいと思ったからです。実際にブロック大学での語学研修の体験では、人の温かみに触れることが出来たことと共に、コミュニケーションをとる難しさと楽しさを学ぶことが出来ました。

まず初めに、私にとってホストファミリーとの生活は毎日が刺激的でした。毎日3食ホストマザーが作るご飯を食べ、ファミリーと慣れない英語で常に会話するわけですから疲れなかったといえようそになります。しかし、毎日自然と英語が耳に入ってくる生活は私にとって耳を慣らすためにもいい環境であったと思います。

さらに、学校生活が始まると慌ただしい日々となりました。クラス分けやテスト、他の留学生との交流、ネイティブの先生、授業後のアクティビティ。新しく見るものや話す人など、すべてに感動しました。また、新しい友人も増え、帰国した今でも連絡を取り合っています。そして一番の成長ともいえるのが、日本の授業では後ろの方で黙々と受講するタイプだった私が、カナダでは周りの自発的な授業態度に刺激され気づくと教室の一番前に座り、積極的に発言するようになっていたことです。英語で会話することはとても難しいですが、自分の言いたいことが相手に伝わった時、相手の言いたいことが理解できた時、英語の楽しさを実感することが出来ました。

今回の語学研修に参加することが出来たおかげで学習に対しても、人に対しても積極的になれたと思います。またいつかお世話になったホストファミリーにお礼を言うためにカナダに帰りたいという目標が出来ました。この貴重な経験を無駄にしないためにも、今後日本で自分自身と真剣に向き合っていきたいと思います。



## 14 Weeks

## カナダ留学を経て



岩倉 瑠加

RUKA Iwakura

1 部英米文化学科 2 年



私はカナダに留学できたことを心の底から嬉しく思います。入学当初から留学に興味はありましたが、自分の英語力に対する自信や、日本から遠く離れた場所で家族や友達と離れて生活ができるか不安があり、正直とても怖かったです。実際は、周りの人たちの支えがあり、カナダでの生活は大変充実していました。

カナダではたくさんの素敵な出会いがありました。暖かく迎えてくれたホストファミリー、大切な様々な国出身のクラスメイト、担任の先生、街やお店で出会った現地の方々、すべてが素敵な出会いでした。時には、日本とカナダでは文化が異なるので、カルチャーショックを受けることもありましたが、それでも、これは私にとってとても良い経験だったと思います。相手の文化を理解することは自分と異なる国の人へ対するリスペクト、礼儀だと感じる事ができたからです。文化を知ることは相手のことを知ることなのだ気づくことができ、このことの大切さを実感しました。

カナダでの生活では、いついかなる時も英語が必須です。何度も自分が言いたいことが上手く相手に伝えられないことがありました。その度に挫けそうになったことがたくさんありました。その後はどうしたら伝わるのか、どのような言い方が正しいのか考え、そして自分の言いたいことが伝わったときの嬉しさ、感動は本当に忘れられません。また、カナダでの生活を経て、私は何事にも積極的に行動することができるようになったと感じています。これらの経験を生かし、自分に自信を持ってこれからの人生を過ごしていきたいと思っています。

本当にカナダに留学できて良かったと強く思います。もし国際文化特別演習に参加したいと思う気持ちがあつてもある方は、是非参加してほしいです。絶対に自分にとって価値のある経験になると思います。



## 14 Weeks

## Life in Canada



蛭澤 麻鈴

MARIN Ebisawa

1 部英米文化学科 2 年



私はカナダで過ごした約4カ月で多くのことを学びました。初めは先生の話すスピードに付いていくことやクラスメイトとの実力差に気が引けてしまい、授業中に発言することがほとんど出来ませんでした。そのため、すぐにもっと流暢に話せるようになりたいと思い努力しました。先生は教科書の内容以上に実践的な会話練習をさせてくれ、1人でのプレゼンやグループで劇など初めての経験もしました。そして、クラスではミスをしてでも恥ずかしくないと思わせてくれる雰囲気がありました。これを機に英語を話す恐怖心が薄れていき、どう伝えたら理解してくれるだろうと考えることが楽しくなっていました。また、会話をしてくれる相手の方も何を言っているか、時間がかかっても理解しようとしてくれたので、私も諦めずに思っていることを伝えられました。さらに、授業以外でもスポーツやゲームなどを通して様々な場面で英語を使う機会がありました。私のクラスは韓国、中国、メキシコの人達がいたため、それぞれの言語や文化を教えあうなどして知識が広がりました。

私がこの留学中で心がけていたことは、とにかく何事にも積極的に参加することでした。大学の行事であるぶどう踏み祭りやナイアガラの滝観光、有名なアイスホッケーの試合を観戦しに行くなど、カナダならではの経験をたくさんしました。放課後も国籍の違う友達とご飯を食べたり、映画を観たりジムに行って運動するなどして、毎日常に英語を使う環境に身を置きました。またホストファミリーとは買い物に行ったり、誕生日パーティーで近所の人達と交流するなど、やはり日本では経験できない日々を送ることができました。このように自分で英語を使うチャンスを増やしたことで毎日充実した時間を過ごすことが出来て、一生忘れられない経験と思い出になりました。

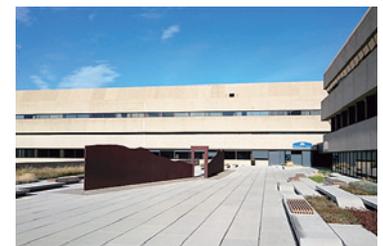
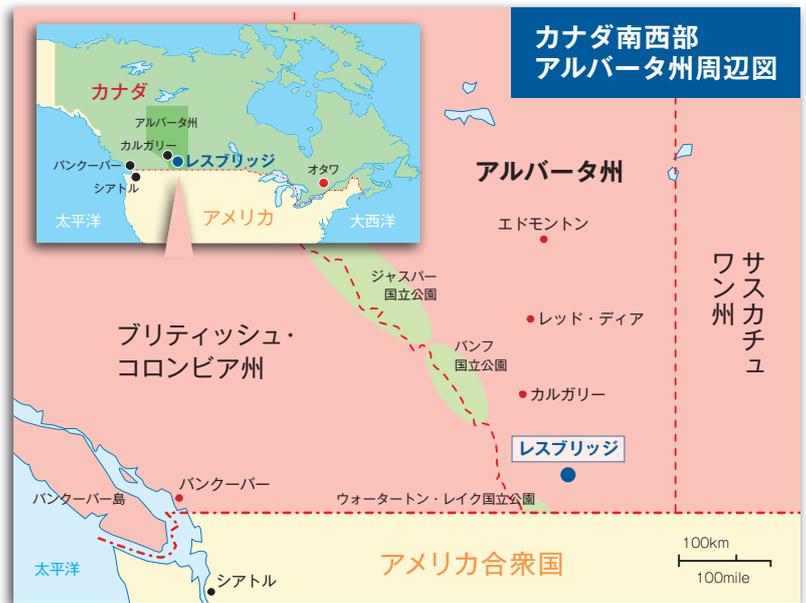


# レスブリッジ大学及び Lethbridge 市の紹介

## Lethbridge市

カナダの西部のアルバータ州に位置するレスブリッジ市 (City of Lethbridge) は、州内でカルガリー、エドモントン、レッド・ディアに次ぐ4番目の人口 (現在 93,004 人) を有する都市です。カナディアンロッキーの近くに位置するため、夏は涼しく (平均 26℃)、冬もさほど厳しくなく (平均 -2℃)、2時間南下すると、ロッキー山脈沿いのウォータートン・レイク国立公園に入り、1時間ほどでアメリカに行くことができます。

レスブリッジ市は南アルバータの商業、金融、交通、そして工業の中心で、19世紀後半からは炭鉱を中心に、20世紀初頭からは農業を中心に発展してきました。労働人口の半数は衛生、教育、小売、宿泊飲食産業などに携わっています。第二次世界大戦中、ブリティッシュ・コロンビア州から強制収容された日系人がレスブリッジ郊外の農村地帯に住んでいたという歴史を持ち、日系人の比率が比較的高いと言えます。2011年の国勢調査によれば日本人人口は 1,575 人 (そのうち日本語を母語として話す人口は 320 人)。現在、青森県十和田市と沖縄県南風原町と友好姉妹都市を結んでいます。また日加友好日本庭園 (Nikka Yuko Japanese Garden) が市の南部にあります。



レスブリッジ大学

## レスブリッジ大学とは

レスブリッジ大学は、1967年州立大学として創立された南アルバータにおける唯一の総合大学です。南アルバータの3つのカレッジのうち2つが市内にキャンパスを構え、人文・社会学部、芸術学部、健康学部、理学部、経営学部、看護学部、演劇学部、音楽学部の八つの学部と大学院で学士・修士・博士課程の教育が行なわれ、150以上の学部課程のプログラムと大学院課程のプログラムを有します。在学生は 8,400 人 (500 人は世界 87 カ国からの留学生) で、2014年『マククリーン』(カナダの時事雑誌)の大学の評価と、2013年 RESEARCH Infosource (研究大学を評価するサイト)において、いずれもカナダ国内の大学3位にランクされています。教育は少人数クラスと小コミュニティのなかで行なわれるのが特徴で、英語を母語としない学生のためのプログラムも毎年、春、夏、秋学期に提供しています。

## レスブリッジ大学海外研修事業の概要と EAP 授業

レスブリッジ大学と本学は 1986 年から提携を結んで学生交換事業を行ない、現在まで隔年ごとに多数の学生を相互に派遣してきました。グローバル化が進展するなか、この学生交換事業は「語学研修」と「交流体験」を通して英語の養成と国際性の涵養が目的とされ、多くの実績と豊かな経験を蓄積してきました。

2014 年度から、上記の事業にさらに「海外研修事業」を加え、学生が「国際文化特別演習」として約 4 ヶ月間、レスブリッジ大学が提供する EAP (English for Academic Purposes) のプログラムに参加できるようになりました。EAP とは、英語を母語としない学生のためのプログラムで、大学で学ぶために必要な英語を習得する集中講座で、リーディングとライティング、コミュニケーションを専門講師から学び、初級から上級までのクラスレベルがあります。

研修期間中、学生たちは、南米諸国、中東、アジア各国からの留学生を中心とする多様な文化背景を持つ人々と授業を

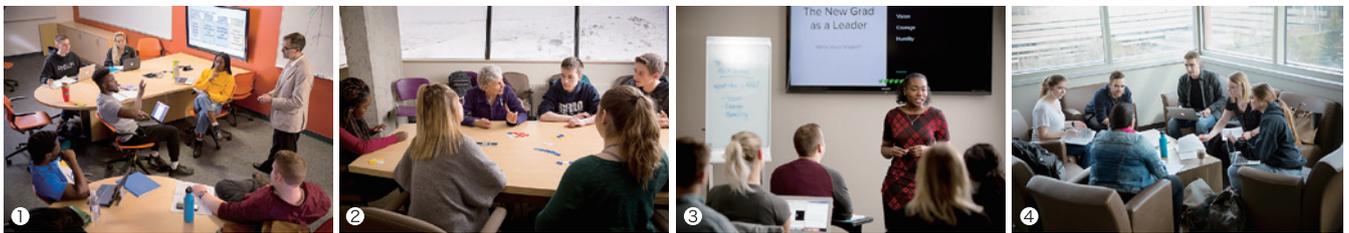
受けることになります。また、ホームステイや世界各国からの留学との交流を通して、あるいは日加文化活動の参加と国立公園への探訪などの体験を通してカナダ文化に触れ、多文化主義をも体験することができます。

### 【授業内容例】

- 受講生はプレースメントテストにより初級から上級までの3つのレベルに分けられ、それぞれのレベルでリーディングとライティング、コミュニケーションの2コースを受講します。
- 2018年度からレスブリッジ大学での研修を本学の「国際文化特別演習」（現地での受講科目等に応じて、上限20単位）として履修することができ、研修終了後にレスブリッジ大学から送られてくる成績評価に基づき、学部教授会で単位が認定されます。



様々な国からの留学生たちと



① New Classroom ② Problem Solving ③プレゼンテーションの様子 ④学習コーナー

## レスブリッジ大学のアクティビティ【日本庭園やウォータートン国立公園等】

生きた英語力を身につけ、より流暢に英語を話し、多様な価値観と国際性を涵養するためには、教室だけでは不十分です。さまざまなアクティビティを通して、豊富な体験をすることも必要です。

例えば、ある参加学生は、日本語を学ぶ同世代のパートナーと休日に日本庭園や英語環境のなかの日本文化イベントのお茶会に参加したり、和食レストランに行くなどのアクティビティが、とても印象深かったという体験談を報告しています。あるいは、金曜日は授業が早く終わるので、放課後にバーに行き、お酒を飲みながら話し、カナダ人のほぼ全員が踊ると言われているラインダンスを教えてもらったり、普段の授業の日もパートナーとお昼を一緒に食べたりすることで、よい友人関係を築き、帰国するときには離れたくなくてとても寂しかったという話もありました。戦前から日本と特別な関係があるレスブリッジ市ならではの体験ができるそうです。

また、Waterton National Park（ウォータートン国立公園）を散策した学生は、同じプログラムに参加した韓国からの留学生と一緒に行動し、英語を通してカナダでの異文化を体験しています。ハイキングで川の近くまで迫ったとき、壮大な湖と雄大な自然に感動して撮った風景は、どれもこれも絵になるような写真ばかりだったそうです。

参加者全員は、市民ホールで開かれたレスブリッジ市主催の国際留学生のための「グローバル・ナイト・パーティ」に参加しました。ゲーム、会話、ダンスなどで（食事込みで\$2のみ）、大いに楽しんだとのこと。



㊦日本庭園 ㊦日本文化イベントのお茶会 ㊦㊦ウォータートン旅行

## 3 Weeks

## My Host Family and My Lovely Days !



光藤 七海

NANAMI Mitsufuji  
1 部英米文化学科 2 年



中学生の頃から海外や英語に興味を持ち始めて、いつかは留学をしてみたいと考えていました。しかし、自分の英語に自信が無く、ホームステイにも不安があって、自分が留学することなんて全く想像つきませんでした。それでも、大学二年生になって、やはり一度海外に行って自分の英語を見つめ直したいと思い留学を決意しました。留学のサポートをしてくれた大学や応援してくれた家族や友達に感謝しています。

この留学を楽しめた理由の一つとしてホストファミリーに恵まれたことが挙げられます。最初は話が一度で理解できなくて、何度も聞き返していました。自分の話したいことを英語にすることの難しさを知り、とても悔しかったです。そこで、私はあまり部屋にこもらずリビングで過ごすようにしたり、毎日の犬の散歩や買い物について行ったりすることで、ホストファミリーとの時間を増やしていきました。ホストファミリーは、いつも私の未熟な英語に対して真剣に耳を傾けて理解しようとしてくれたので、私は恐れることなく英語を話すようになりました。最後の方には、楽しく会話のやりとりをすることができるようになり、とても嬉しかったです。そして、週末には一緒にウォータントンに行って山登りをしたり、カルガリーに行って買い物をしたり、世界遺産を見に行くなどしました。私をたくさんの方に連れて行ってくれたり、毎日健康的で美味しい食事を作ってくれたりなど本当の娘のように私の心配をしてくれたホストファミリーと出会って私は本当に幸せでした。今でも連絡を取り合っています。

耳に入ってくる音、目に入ってくる情報、全てが英語である環境はとても刺激的で、勉強になりました。最初は不安が大きかったのですが、勇気を出して参加して本当に良かったと思います。学校でも毎日が本当に刺激的で充実していて勉強になりました。今回の研修は、私の人生の中で忘れられない最高の経験となりました。



## 3 Weeks

## カナダ・レスブリッジが教えてくれたこと



三浦 萌枝

MOE Miura  
1部英米文化学科2年



私が今回研修に参加した理由は、「留学をする」という夢を叶えるため、そして、自分の英語力をもっと高めたいと思ったからです。実際に参加した3週間は色々な経験を通して沢山のことを学ぶことができ、とても充実した経験となりました。大学での講義はもちろん、ホストファミリーと様々な場所に行って参加したアクティビティ、ショッピング、クラスメイトや地元の人々との会話など、日本で過ごしては絶対に体験出来ないことばかりで毎日沢山の驚きや発見がありました。

私が一番強く印象に残っていることは、カナダに住んでいる人たちがすごく優しく、フレンドリーだったということです。実際に学校から帰るため歩いていた時、見知らぬ人が「Hi!」と声をかけて来たことがよくありました。さらに、バスの運転手も乗客が乗ってくる度に「Hi, how are you today?」というような挨拶を一人一人にしているのです。日本では経験することが無い出来事に最初は驚きましたが、このようにアットホームでお互いに笑顔で声をかけあっている光景を見て、人とコミュニケーションを取ることは、凄く素敵だなと感じました。また、私のホストファミリーと一緒に参加したボートやカヤックなどのアクティビティもとても楽しく、空気も景色も綺麗なレスブリッジを堪能出来て幸せでした。一方で、自分の英語力が乏しいということを実感し、苦労しました。講義で先生が言っていること、教科書の文章などを理解して自分が何をしなければいけないのか考えなければいけないのに、なかなか意味を理解することが出来なくて、とても焦りました。さらに、ホストファミリーの話すスピードが速く聞き取ることも困難な上に、消極的な私は、間違えを恐れて自分が言いたいことをすぐに伝えることが出来ませんでした。そのため、最初は相槌程度の会話しか出来ませんでした。この体験から、自分には単語力とリスニング、スピーキングの力が不足しているということに気がつきました。しかし、カナダで生活していくのにそんなことは言ってもらえません。それからは、講義で知らない単語が出ると聞いたり、調べるなどして勉強し、会話が出来ないからと諦めるのではなく、沢山話をして自分が間違えていたり、伝わらなかった時は教えてもらうなど自分なりに努力をしました。そのおかげで少し自信を持てるようになったので、これからも続けていきたいです。

3週間はあっという間に終わってしまい、もっと色々なことを学びたかったなと思いました。この3週間で人の温かさや今後の課題に気づくことができたので、本当に参加できて良かったと思っています。



## 14 Weeks

## My fulfilling study abroad in Canada



沢谷 紀香

NORIKA Sawaya

1 部英米文化学科 2 年



今回の留学は私にとって初めての留学でした。さらに日本から出ることも初めてだった私は、着いてすぐいわゆるカルチャーショックに直面しました。カルチャーショックと聞くとネガティブなイメージですが、カナダでの約4ヶ月の生活を終えて、私はポジティブな意味でも捉えるようになりました。日本で過ごしていて当たり前であったことが、他の国に行くと全く異なります。食事、公共交通機関、マナー、教育、そしてもちろん言語など様々な違いを始めは窮屈に感じていました。しかし、自分が少しずつ順応していくと、その違いが興味深く思えてきました。そして、この世界にはまだまだ私が知らない文化が沢山あり、そのようなことについてもっと知りたいと思うようになりました。その時に、私の留学の目標は「自分が知らない文化を知ること」だったと再確認できました。ここからは、カルチャーショックに直面してもマイナスの感情になるよりも、新しいことを知る喜びでわくわくしました。カナダには日本と違い様々な国から来た人がいます。そこで出会った人から新しい文化を知ること、日本にいるときにはなかった受容力がついたと感じています。なぜ自分が留学しているのかを行く前しっかりと自分の中で確認することは大事だと思います。なぜなら、留学は旅行と違い楽しいことばかりではないからです。誰しもが辛い時期を経験することと思いますが、その時にこの留学を、将来どのように生かしていきたいのかなどを見直すことが大切だと感じました。私は将来の夢があるので、そのためにこの英語漬けの環境を生かさなくてはと思い、毎日3時間は勉強すること、課題は手を抜かないことを決め、次の日から実践していました。

これから留学を考えている人は、ただ行くのではなく、目標や自分の中のルールなどを明確にしてから行くことにより充実した留学になると思います。



## 14 Weeks

## 語学研修と文化



川村 咲

SAKI Kawamura

1 部日本文化学科 3 年



私は昨年度のカナダへの英米文化特別演習（3週間）に続き、今年度は国際文化特別演習（14週間）にも参加することができました。英米文化特別演習の時はとても楽しく、修学旅行のような過ごし方をしてしまいました。そして、3週間プログラムに参加して実感した英語スキルの不足が、国際文化特別演習に応募する動機になりました。そのため、14週間の間、しっかり英語を勉強するというのが当然の目標だと考えていました。

しかし、渡航準備の段階で英語の勉強だけでは済まないことを知りました。3週間のときの事前準備は荷物を揃えることだけでよかったので、他の手続きがどれだけ大変なのか考えていませんでした。語学学校とホームステイの申請書や入国審査関係の書類の準備、航空券の手配など、先生方にアドバイスをもらい、なんとかレスブリッジに行けるようになったときに実感することができました。

そして、現地でクラス分けが済み、授業が始まった頃は「今年こそしっかり英語の勉強をしよう」とばかり考えていましたが、徐々にその考えが変わりました。クラスメートたちの姿から、住んでみて分かるカナダ人の日常生活に注目したいと思うようになったからです。

それからは、課題が少ないときなどはホストマザーとニュースやドラマを見たり、休みの日を利用して期間限定の市場を見て回ったりなど、大学の外に出てカナダの生活を体感するようにしました。クラスメートの中には、面白いものが少ないという人もいましたが、何に注目するかによっては面白いものは数えきれないほどありました。また、色々日本との違いや共通点を見つけ、理由を考えてみる楽しさもあったので、将来何かに生かせると思っています。

そして、レスブリッジでは普段なら進んですることのない散歩やスケートをやってみるなどして非日常も楽しみました。14週間は英語を集中的に勉強する良い機会ですが、授業や課題以外の生活では、旅行をしているような気分がたくさんのことを経験するのも収穫の多い過ごし方ではないかと思えます。



# 研修までの流れ

## ブロック大学

英米文化特別演習Ⅰ・Ⅱの場合  
(3週間の留学)

## レスブリッジ大学

国際文化特別演習の場合  
(約4か月の留学)

11月

● 合同説明会 (プログラム紹介)

12月

- 募集
- 申込
- 参加者発表

4月上旬

- 英米文化特別演習Ⅰ  
募集・申込・参加者発表  
授業開始 (隔週土曜に2時限)



- 国際文化特別演習  
授業開始 (隔週土曜に2時限)



7月下旬

8月

● 結団式 (ホストファミリー情報、最終注意事項の確認など)

9月

- 英米文化特別演習Ⅱ  
カナダでの授業開始 (約3週間)
- 9月下旬 終了

- カナダでの留学スタート  
(約4か月)



10月

- 報告書提出 (留学を終えてのエッセイ)  
研究発表会

- 12月中旬 終了

1月



- 報告書提出 (留学を終えてのエッセイ)  
研究発表会

# 海外研修事業の歴史

## ■人文学部 英米文化特別演習／国際文化演習 実施一覧表

	研修大学	研修期間	引率教員	参加学生数	委員
第1回	ブロック大学	平成12(2000)年度 7月7日～8月13日	宝利 尚一	18名 (男子7名、女子11名)	米坂 スザンヌ
			米坂 スザンヌ		岩崎 まさみ
第2回	ブロック大学	平成13(2001)年度 7月8日～8月12日	井上 真蔵	22名 (男子5名、女子17名)	米坂 スザンヌ
			岩崎 まさみ		岩崎 まさみ
第3回	ブロック大学	平成14(2002)年度 7月7日～8月11日	桑原 俊一	20名 (男子3名、女子17名)	米坂 スザンヌ
			上野 誠治		岩崎 まさみ
—		平成15(2003)年度 SARSの流行により中止			米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ 大石 和久
第4回	ブロック大学	平成16(2004)年度 9月4日～9月26日	米坂 スザンヌ	25名 (男子2名、女子23名)	米坂 スザンヌ
			岩崎 まさみ		岩崎 まさみ
第5回	ブロック大学	平成17(2005)年度 9月4日～9月25日	栗原 豪彦	24名 (男子4名、女子20名)	米坂 スザンヌ
			米坂 スザンヌ		岩崎 まさみ 中川 かず子
第6回	ブロック大学	平成18(2006)年度 9月3日～9月24日	中川 かず子	20名 (男子6名、女子14名)	米坂 スザンヌ
			イアン・マンビ		岩崎 まさみ 中川 かず子
第7回	ブロック大学	平成19(2007)年度 9月2日～9月23日	上野 誠治	22名 (男子4名、女子18名)	米坂 スザンヌ
			池内 静司		岩崎 まさみ 中川 かず子
第8回	ブロック大学	平成20(2008)年度 9月1日～9月21日	桑原 俊一	23名 (男子0名、女子23名)	岩崎 まさみ
			本城 誠二		上野 誠治
—		平成21(2009)年度 世界流行のインフルエンザにより中止			岩崎 まさみ 上野 誠治
第9回	ブロック大学	平成22(2010)年度 9月5日～9月26日	岩崎 まさみ	27名 (男子5名、女子22名)	米坂 スザンヌ
			ウィリアム・ケイ		岩崎 まさみ 中川 かず子
第10回	ブロック大学	平成23(2011)年度 9月4日～9月25日	田中 洋也	26名 (男子5名、女子21名)	米坂 スザンヌ
			ウィルマ・ルース		寺田 吉孝
第11回	ブロック大学	平成24(2012)年度 9月3日～9月23日	岩崎 まさみ	24名 (男子8名、女子16名)	米坂 スザンヌ
			ジェレミ・ブシャー		田中 綾
第12回	ブロック大学	平成25(2013)年度 9月1日～9月22日	上杉 忍	13名 (男子3名、女子10名)	米坂 スザンヌ
			ブリックリン・ゼフ		テレングト・アイトル
第13回	ブロック大学 レスブリッジ大学	平成26(2014)年度 8月31日～9月21日	柴田 崇	14名 (男子2名、女子12名)	米坂 スザンヌ
			米坂 スザンヌ	12名 (男子3名、女子9名)	田中 洋也 テレングト・アイトル
第14回	ブロック大学	平成27(2015)年度 9月6日～9月27日	ジェレミ・ブシャー	14名 (男子2名、女子12名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	平成27(2015)年度 最少催行応募人数の10名に達しなかったため中止			上野 誠治 ジェレミ・ブシャー
第15回	ブロック大学	平成28(2016)年度 9月6日～9月23日	米坂 スザンヌ	12名 (男子2名、女子10名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	平成28(2016)年度 最少催行応募人数の10名に達しなかったため中止			本城 誠二 ジェレミ・ブシャー
第16回	ブロック大学	平成29(2017)年度 9月6日～9月22日	大森 一輝	13名 (男子6名、女子7名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学		テレングト・アイトル	12名 (男子8名、女子4名)	本城 誠二 ジェレミ・ブシャー
第17回	ブロック大学	平成30(2018)年度 9月3日～9月21日	森川 慎也	11名 (男子7名、女子4名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学		ジェレミ・ブシャー	10名 (男子4名、女子6名)	渡部 あさみ ジェレミ・ブシャー
第18回	ブロック大学	令和元(2019)年度 9月1日～9月22日	上野 誠治	10名 (男子5名、女子5名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学		ジェレミ・ブシャー	10名 (男子5名、女子5名)	渡部 あさみ ジェレミ・ブシャー

## ■人文学部 国際文化特別演習 実施一覧表

	研修大学	研修期間	参加学生数	委員
第1回	ブロック大学	平成27(2015)年度 9月8日～12月18日	3名 (男子1名、女子2名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	平成27(2015)年度 9月9日～12月17日	3名 (男子2名、女子1名)	上野 誠治 ジェレミ・ブシャー
第2回	ブロック大学	平成28(2016)年度 9月6日～12月16日	3名 (男子2名、女子1名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	平成28(2016)年度 9月7日～12月15日	3名 (男子2名、女子1名)	本城 誠二 ジェレミ・ブシャー
第3回	ブロック大学	平成29(2017)年度 9月6日～12月16日	3名 (男子1名、女子2名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	平成29(2017)年度 9月7日～12月15日	3名 (男子2名、女子1名)	本城 誠二 ジェレミ・ブシャー
第4回	ブロック大学	平成30(2018)年度 9月4日～12月14日	2名 (男子1名、女子1名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	平成30(2018)年度 9月4日～12月14日	2名 (男子2名、女子0名)	渡部 あさみ ジェレミ・ブシャー
第5回	ブロック大学	令和元(2019)年度 9月4日～12月14日	3名 (男子1名、女子2名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	令和元(2019)年度 9月3日～12月13日	3名 (男子1名、女子2名)	渡部 あさみ ジェレミ・ブシャー

# Brock Photo Gallery



# Photo Gallery

Lethbridge





令和2年3月発行

北海学園大学 人文学部

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号  
TEL: 011-841-1161 (内線2132)  
FAX: 011-824-7729  
北海学園大学 URL: <https://www.hgu.jp/>  
北海学園大学人文学部 URL: <http://human.hgu.jp/>

edit : Labbott

